

# 美術博物館の催し



美術博物館  
ホームページ

## 特別展関連イベント①

### 講演会「新制作派協会の戦前・戦中・戦後—創立期会員、神戸・阪神間の会員の歩みとともに—」

伊藤継郎が所属し活動の拠点とした新制作派協会とその会員たちについてお話を伺います。

■日時&会場 6月11日(日)午後2時～3時30分・講義室 ■講師 廣田生馬氏(神戸市立小磯記念美術館) ■定員 60人 ■料金 無料(要観覧料)



小松益喜《古風な門・古風な家》1936-37年頃 油彩、布 神戸ゆかりの美術館蔵

## 特別展関連イベント②

### ワークショップ

#### 「継郎先生の絵画教室—静物画を描こう!」

伊藤継郎が開いた絵画教室のように、自由にのびのびと描くことを楽しめます。

■日時&会場 6月25日(日)午前11時～午後4時・体験学習室 ■対象 小学生以上・10人 ■講師 吉村有子(アーティスト) ■料金 500円(要観覧料) ■持ち物 使いたい絵具や画材(カンバスは用意あり)・汚れてもよい服装・昼食・飲み物 ■申し込み 6月10日(土)までに氏名・住所・電話番号を電話かEメールにて右記へ(応募多数抽選)



伊藤継郎《窓辺の花》制作年不詳 油彩、布 神戸市立博物館蔵

## 特別展関連イベント③

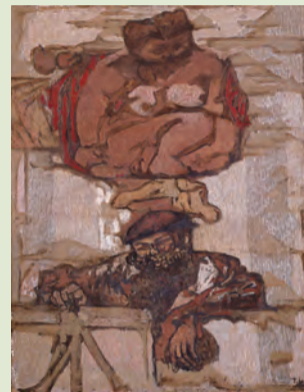
### 学芸員によるギャラリートーク

■日時 6月17日(土)午後2時～3時 ■会場 ホール、展示室 ■料金 要観覧料

## 特別展

### 「芦屋の美術、もうひとつの起点—伊藤継郎」

芦屋の地で描き続けた画家・伊藤継郎(1907-1994)の没後初となる大規模な個展。新制作協会や芦屋市美術協会の中心で活躍した伊藤の作品約80点と彼が交流をもった20人の多彩な画家たちの作品を展示。伊藤の画業を美術史的・制作的観点から再検証します。



伊藤継郎《画家と裸婦》1953年 油彩、布 芦屋市立美術館蔵

■期間 4月15日～7月2日

【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432 / FAX 38-5434 / ✉ashiya-bihaku@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般800(640)円、大高生600(480)円、中学生以下無料※( )内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

# 谷崎潤一郎記念館の催し



谷崎潤一郎  
記念館  
ホームページ

## 第37回残月祭

### いとうせいこう・奥泉光対談

#### 「谷崎潤一郎 痴人の愛」



いとうせいこう氏 奥泉光氏

谷崎潤一郎の生誕祭「残月祭」。今年は、谷崎の誕生日の前日に、いとうせいこうさん(作家・クリエイター)と、奥泉光さん(小説家)をお招きし、『痴人の愛』をテーマに楽しく語っていただきます。

■日時 7月23日(日)午後2時～3時30分(1時開場)

■会場 ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール ■定員 600人 ■料金 2,800円(前売2,500円) 【チケット販売所】谷崎潤一郎記念館・大和昭文堂・市役所売店 ■申し込み 氏名・住所・電話番号・参加人数を谷崎潤一郎記念館へ。振込方法をお知らせし、入金確認後、前売券を発送します。

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852 / FAX 38-3244 / ✉ashiya-tanizakan@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料※( )内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

## リニューアルオープン記念 つながる文学講座 第2回《声と文学》～最晩年の宮沢賢治～

賢治が最晩年に書いた文語詩は当時高く評価されませんでした。賢治は相当な自信を持っていたようです。今回は「声」の視点から文語詩について考えます。



信時哲郎氏

■日時&会場 6月17日(土)午後2時～3時30分・講義室 ■定員 30人 ■講師 信時哲郎氏 ■料金 1,000円(観覧料込み) ■持ち物 筆記用具 ■申し込み 下記へ

## 名作をひもとき名文を朗読(よむ)講座 小さな朗読会《初夏の巻》

「名作をひもとき名文を朗読(よむ)」講座の皆さんが、日頃の成果を披露します。名文の朗読を聞きながら、谷崎潤一郎の京都の邸宅を模した美しい庭の緑もお楽しみください。



谷崎館庭

■日時&会場 6月7日(水)午後2時～3時・ロビー ■定員 40人(要予約) ■料金 要観覧料